

[愛に呪われ]

R18  
UNOFFICIAL FAN BOOK

Tsumugi Aoba × Natsume Sakasaki

Presented by Hikiniku Nukui / Namu

# 又 に 呪 わ れ て い る



2838283928405420682



2672267226722672682

2023/11/23  
COMIC CITY SPARK 18  
brilliant days 43

成人指定

FOR ADULT ONLY

きっとボクらは、

愛に呪われている

最初の革命が成された年の冬。  
夏目のある行動がきっかけで  
恋を自覚してしまったつむぎは、  
約束していたユニット活動の  
中止を提案する。

つむぎの提案の裏には、過去の  
トラウマが関わっており……。



Ensemble Stars!!  
Unofficial fanbook 4



2023/11/23  
COMIC CITY SPARK 18  
brilliant days 43

成人指定  
FOR ADULT ONLY

きっとボクらは、

愛に呪われている

最初の革命が成された年の冬、  
夏目のある行動がきっかけで  
恋を自覚してしまったつむぎは、  
約束していたユニット活動の  
中止を提案する。  
つむぎの提案の裏には、過去の  
トラウマが関わっており……。

[愛に呪われ]



Tsumugi Aoba × Natsume Sakasaki  
Presented by Hikiniku Nukui / Namu

又  
に  
呪  
わ  
れ  
ら  
れ  
て  
い  
る

又  
に  
呪  
わ  
れ  
ら  
れ  
て  
い  
る



あの忌まわしき  
『fine』による  
五奇人討伐から数週間

革命後の暫しの  
静けさが広がる校内



…またカ



……おい

ボクは、いい加減  
しつこく絡んでくる  
モジャ毛に辟易していた



お  
夏目ちゃん  
やっぱりここに  
いたんですね

……

ちゃん付け  
それ  
やめ口

- 含まれる要素と注意■
- ・前置きが長いエロ漫画です
- ・背景やキャラデザ(制服)はアニメ(!&エレメント)とゲームから都合のいい感じに抜粋していますのでデザイン等違うことがあります。仕様です。
- ・全ページ胸の校章がありません。許してください。
- ・なぜか途中でペンを変えたのでところどころ線の太さが違います
- ・過去の捏造
- ・親の捏造
- ・捏造に次ぐ捏造
- ・子供がかわいそうな描写
- ・これ必要?って感じのエロ

これは  
ボクたちが  
"Switch"に  
なる前

季節が変わり  
始める時期の話だ

ノックくらい  
しなヨ

真っ暗だったので



何しに来たんだヨ

ガキヤン!!



ボクは男だつて、何度言つたら解るノ？  
若いくせにボケてるワケ？

すみません、  
やっぱりまだ

『なつめちゃん』が  
可愛い女の子って  
いうイメージが  
抜けなくて♪



いやあ、  
一緒にユニットを  
組むことになった  
じゃないですか？

むかあし一緒に  
過ごしたことが  
あるとはいえ、

空白期間も長い訳ですし、  
少しでも親睦を  
深められたらと思つて♪



フン  
必要ないヨ

ボクはセンパイに  
対して未だ不信感が  
あるからネ

キミたちがボクら  
五奇人にしたことを  
許したわけじゃないシ

そう簡単に心を  
許すとも思つタ？

そんなこと  
言わないでください！

俺は夏目ちゃんのこと  
が好きなんです！

小さい頃の友情が  
ゼロになったなんて  
思いたくありません！

また前みたいに  
仲良く——

全くこの男の言葉は、  
ボクの神経を  
逆撫でするのが  
上手すぎて

もはや嫌がらせ  
なのかと  
思ってしまうほど



…ねエ

——本気で  
しんみり

わざと  
言ってる？



…お

くっくくくく

怒らないで  
ください



本当にわざと  
じゃないんですよ



す…

…ハア

そっか



?

わかんないんだよね?

実感しないト



もう二度ト

『夏目ちゃん』なんて  
言えないように  
してやるヨ



へ？

くっくくくく







何だったんだ...





パンツの中を  
見てしまった!!!

夏目くんの!!

夏目ちゃんの

内股

さー



これがもしかして  
最近読んだ本に  
載ってた  
ラッキースケベ?  
ってやつなん  
でしょうか!?

怒らせちゃった  
のは俺が悪い  
んですけど!

それと夏目くんは  
疑う余地も無く  
ばっちり男の子  
でしたけど!



本当はやっぱり  
女の子なんじゃ  
ないかって

俺は心の  
どこかで

捕まえた♪



もう逃げられないよ、  
つむぎにいさん♪

夏目ちゃん!!  
なんでここに!?

ふん  
ふん

へっ!?



つむぎ  
にいさん  
の嘘吐き

アハハ



だっ…  
ダメです!!

プキ

あわ

夏目ちゃん、  
そんなことしちゃ……

プキ

あわ



ずっとボクと  
こういふコト、

したかった  
んでしょ?

あ

しっしっ

ねエ?

…センパイ?

—夏目くん

許して  
ください



説得力無い  
かもしれない  
ませんけど

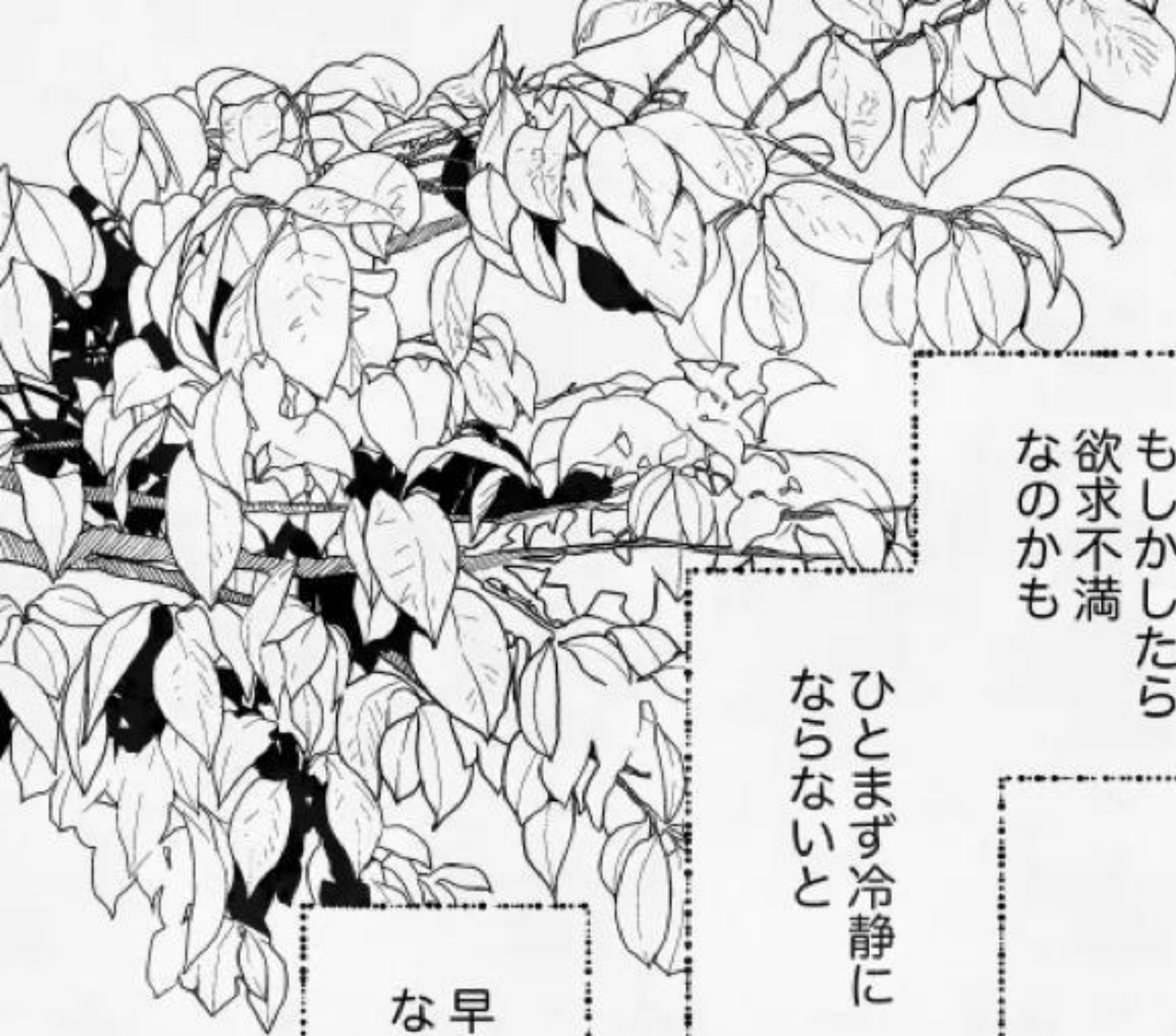
本当に  
全然そんな  
つもりじゃ  
なかったんです

夢……？

いい加減に  
してヨ

—ねエ  
センパイ！





もしかしたら  
欲求不満  
なのかも

ひとまず冷静に  
ならないと

早く<sup>ひとけ</sup>人気の  
ない場所へ、



すっ

すいません!!!

ちよつと

!?



…と思ったけど  
やっぱり  
治まりません!!

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



なんで  
こんなふう  
になっちゃっ  
たんでしょ  
う

はあっ

あ、

っう



あんなことが  
あったから？

変な夢まで  
見るし

おかしく  
なっちゃっ  
たみたい  
で

俺、



夏目くん

出る、

夏目くん

くっ  
くっ

くっ  
くっ



っ……



そうして  
冷静になると  
嫌悪感が  
襲ってきた

この気持ちも  
衝動も、  
自分じゃ止めら  
れそうもなくて

自分じゃ  
ないみたいで

どうしようも  
なくて



…ハア？

…気持ち悪い

—夏目くん  
ごめんなさい

俺から言い出して  
おいて不誠実だと  
思うんですけど…

ユニットの件、  
一回保留に  
させてもらえ  
ませんか？





気持ち悪い  
でしょう?

.....

コントロールの  
効かない衝動に  
嫌になる

勝手に好きに  
なって欲情して

この欲を  
君にぶつけて  
しまいたくなくて

...自分こそは、  
こうはなりたく  
ないと  
思っていたのに



君を目の前に  
すると

…あのサ

自分が言うことを  
聞かなくなつて

その綺麗な  
目を

香りを

温もりを

つまり

センパイは

その唇から紡がれる、  
乱暴な言葉でさえ

…っ



君の全部



自分だけのものに  
してしまいたい

なんて





…ごめんなさい  
また君を  
傷付けてしまって

—そうですよね

きっと  
この感情を持って  
しまった時点で  
終わりになんです



…さようなら  
夏目くん



君が幸せに  
なるのを、  
一番近くで  
見ていたかった

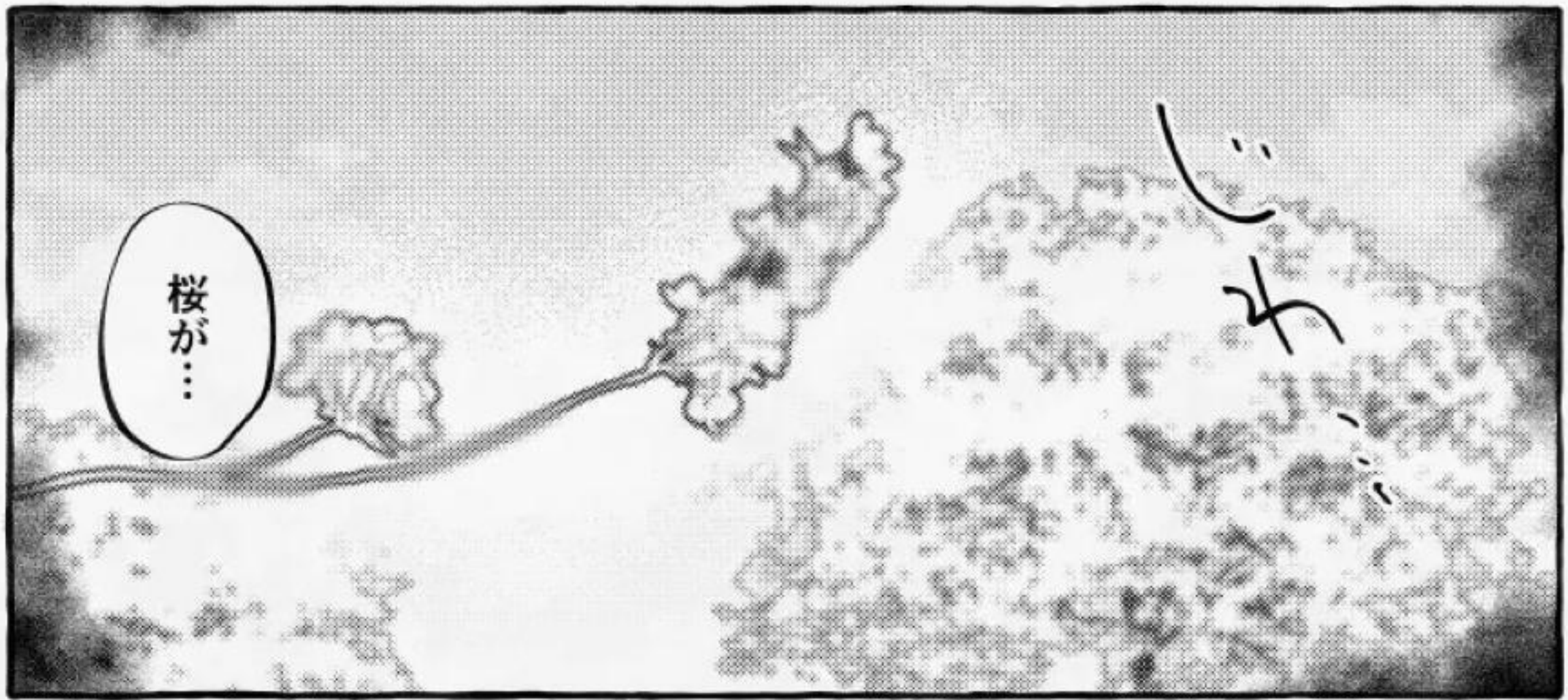
でも、  
その恩恵で


罪深い俺までも  
幸せになって  
しまうことを、  
神様は許して  
くれないのでしょうか



おまえは  
ようやく

その情緒ってもんを  
身につけたんだよ





もう目が  
悪くなっちゃった  
んでしょうか…

—それから数週間

あのモジャ  
眼鏡……

寝不足だ……

あれだけこの部屋に  
通い詰めていた  
センパイは  
一向に顔を出さない

……どころか、  
避けられてすらいる

ボクから行くのは  
癪だから放置  
してるけど

本当にこのままに  
するつもり  
なんだろうか

急に構われなく  
なったから寂しいとか  
そういうことでは  
断じて一切無い  
ウン





…好き、

だからです



あの日から、  
センパイの言葉が  
頭の中で何度も  
リフレインする

その度に沸き上がる  
この感情が何なのか、

ボクはとっくの  
昔に知っていた



否、

どうにか  
忘れようと、  
必死に封じ込め  
ていたのに



ボクは、  
幼年期を女の子  
として生きた

どこにでもいる、  
夢見る女の子

おとぎ話の、  
物語のお姫様  
に憧れた

いつか運命の  
ひつが現れて、  
心通わせ愛し合  
二人は一生懸命  
暮らすのだと



でも

ボクたちは  
本当に運命かも



夢ノ咲に入って、  
つむぎにいさんを  
見かけたときは  
驚いた

入学おめでとう  
ございます



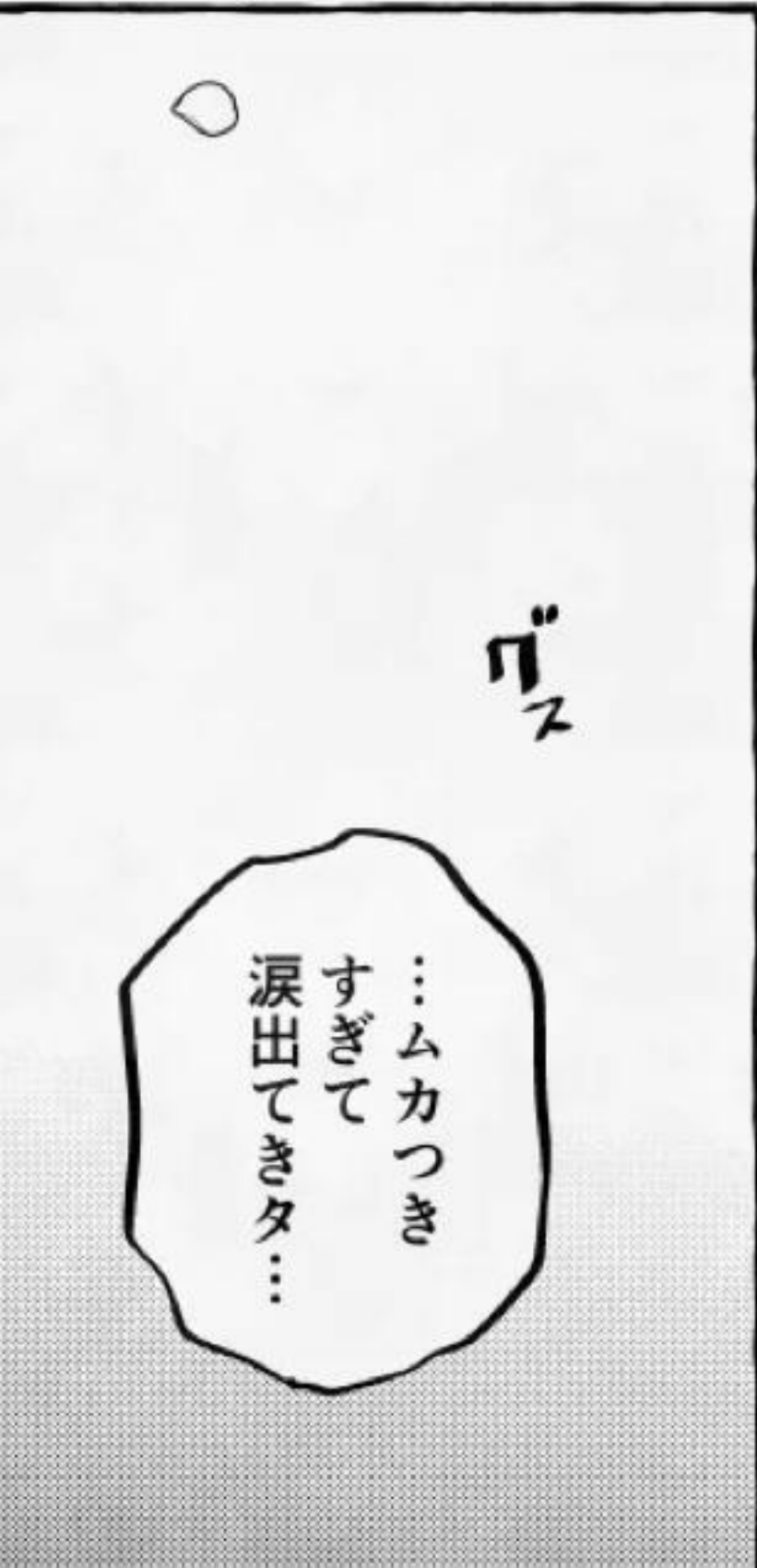
事実、  
ボクはお姫様  
なんかじゃ  
なかつたし

……髪  
切っちゃっ  
たんだ

つむぎにいさんと  
ボクの赤い糸なんて

とつくの昔に  
千切れてい

そう思って  
諦めてたのに



グズ

……ムカつき  
すぎて  
涙出てきた……

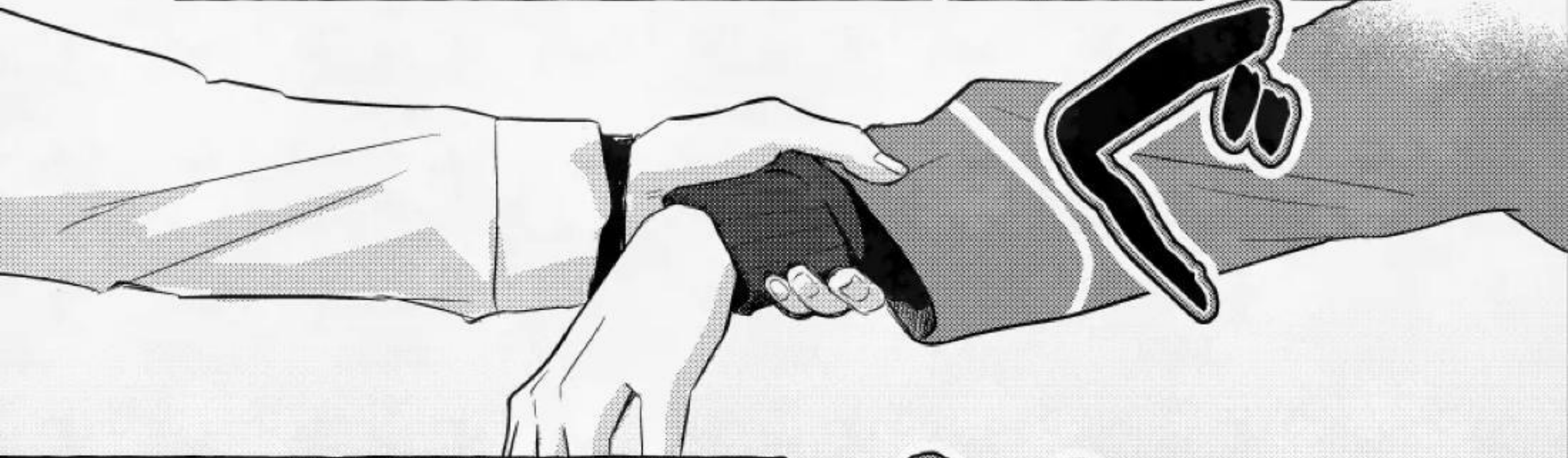


……今更好きとか  
さよならとか  
どんだけ  
身勝手  
なんだヨ  
酷すぎだロ  
モジャ星人!!

バ

カ!!!





身勝手すぎる  
センパイに  
ムカついてた

次会ったら  
殴ろうとか  
思ってたのに

大概ボクも  
どうかしてる

…頑張っ  
てボクを  
避けてたのに  
結局来ちゃっ  
たんだ？

…気持ち悪い  
ですよ

すみません

好意に対して  
気持ち悪いなんて  
思わないけど

それって  
悪いことなの？

…他の人は  
いいんです

俺は駄目  
なんですよ

なんで？

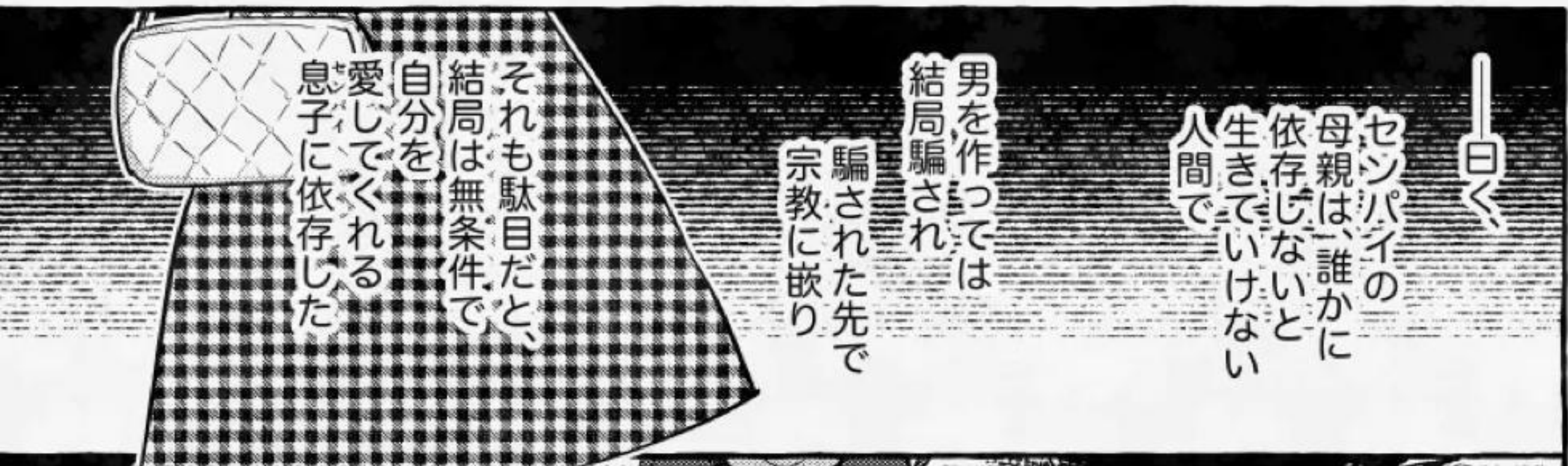
無神経な  
センパイ  
らしくない



…俺には母の血が流れて  
いますから



恋愛なんてしたら  
きつと周りを  
不幸にします



セツパイの  
母親は誰かに  
依存しないと  
生きていけない  
人間で

男を作つては  
結局騙され

騙された先で  
宗教に嵌り

それも駄目だと、  
結局は無条件で  
自分を  
愛してくれる  
息子に依存した



つむちゃん

つむちゃんだけは  
お母さんのこと  
捨てないよね？

ずっと愛して  
くれるよね？

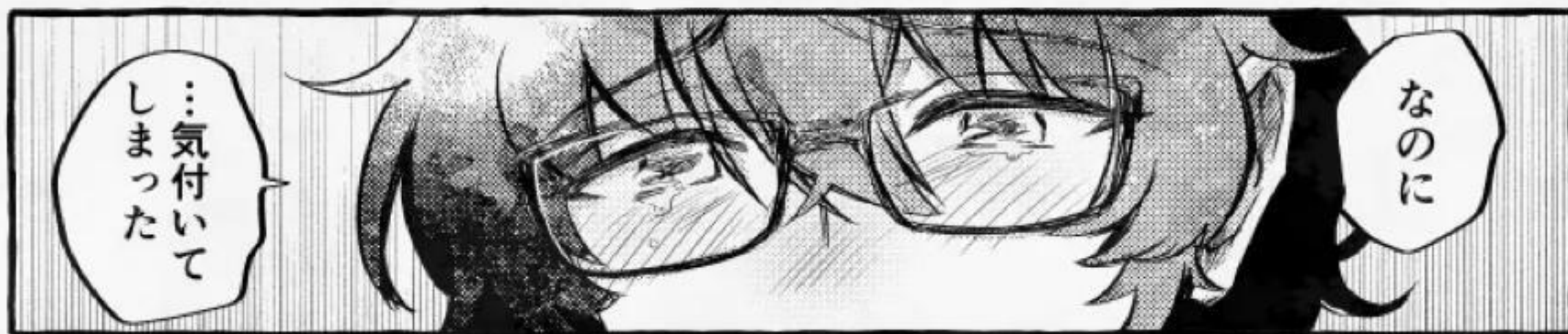
絶対  
絶対だよ

そして

当時、  
まだ幼かった  
『つむぎにいさん』を

その暴力的とも  
言える愛で  
滅多刺しに  
したのだ

愛してるよ  
つむぎ





ごめんなさい



——今になって  
少しわかった

ボクたちは  
少し似ている

センパイとボクを  
同列に並べて  
語ろうなんて、  
烏滸がましいかも  
しれないけど



……ずっと、  
君が好き  
だったんです

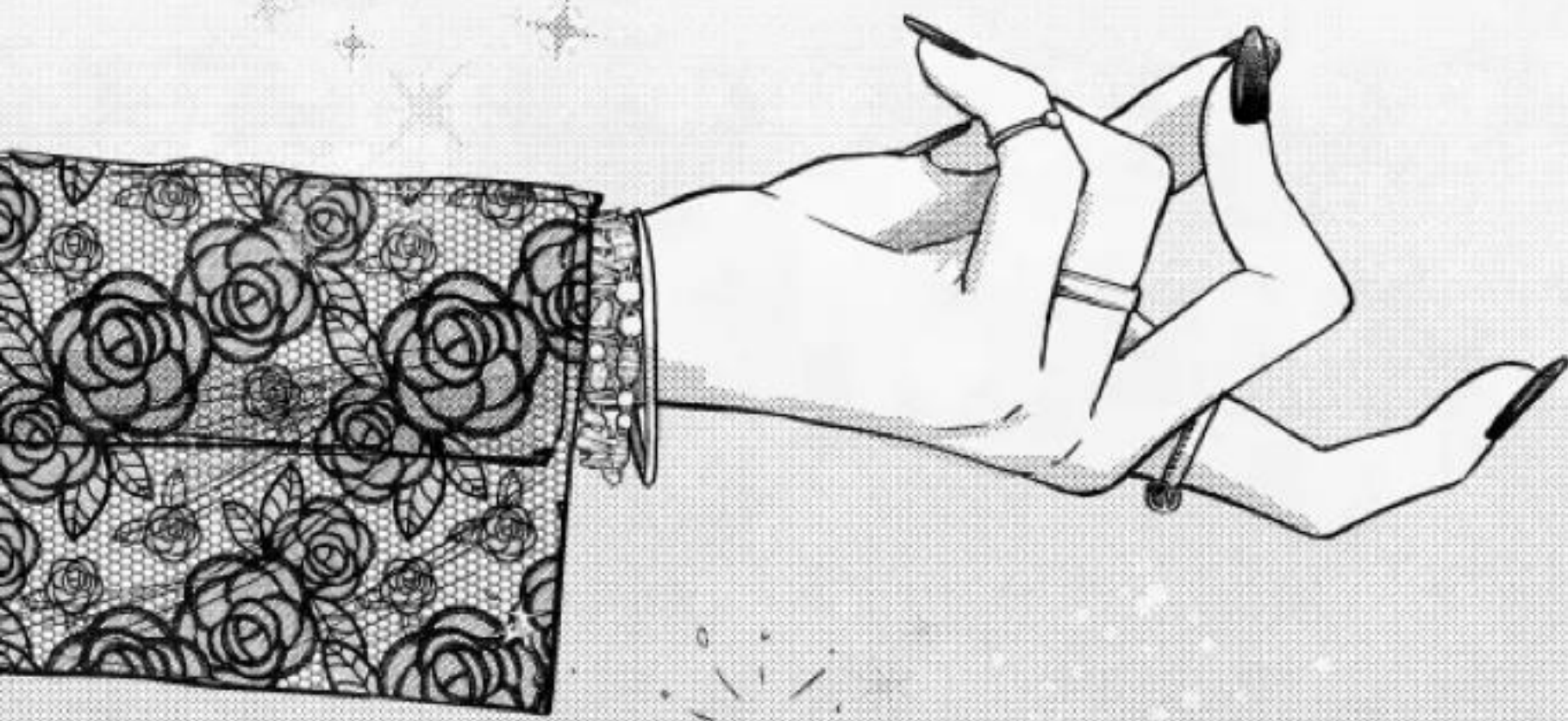
ぎゅ



——ある年の  
誕生日

魔法の魔法が解け、  
履いていたはずの  
ガラスの靴が  
まやかしたと  
気付かされたとき

今までのボクの  
全ては崩れ去った



信じていた  
生き方は  
間違いだった

最初から  
毒林檎を齧る  
権利すら無い

大好きだった  
はずの  
ピンクの小物も

憧れの純白の  
ドレスも

あなたを想って  
過ごした日々も

全部ぜんぶ  
夢幻と消え



おめでとう

おめでとう  
夏目！

『夏目』は  
空っぽになった

パチパチ

パチ

パチパチ

— 身勝手な、  
親の愛だ



きつとボクらは、  
愛に呪われている



そうして愛に  
翻弄された  
ボクたちは、

いつからか  
お互いを  
投げ所にした

歪に愛されて  
溢れちゃった  
センパイと、  
空っぽなボク

貴女はどこまで  
見えていたのかな

全ては今日、

運命の糸が  
絡み合う  
この瞬間のために



…見くびらないでヨ  
ボクがそんなことで  
傷付くとも  
思っているのかな？

『魔女の物語はここでおしまい』



ボクが  
あなたを愛そう

…許さないヨ

だからセンパイも  
ボクを愛していいよ



一生傍で  
呪ってあげル

まじな  
生涯解けない  
呪いをキミに



どうか  
お返しに、

空っぽな  
ボクを

その感情を  
満たしてよ





...本当にいいんですか?

俺止められませんかよ

...やらないと止まらないでショ?

カキカキ











きもち...  
きもち...



意識が  
ふわふわ  
している



全部  
入った...

あつたかくて  
しあわせで  
きもちよくて  
まるで夢の中に  
いるみたい



夏目くん  
顔隠さないで

もっと見せて  
ください  
夏目くんの  
ぜんぶ

ふわ  
ふわ

ふわ  
ふわ



熱を帯びた  
薄い皮膚も

髪に負けないくらい  
真っ赤な耳も

動きに合わせて  
跳ねる身体も

時折漏らす  
掠れた声も

求めるように  
濡れた瞳も

君の全部

どこもかしこも  
愛おしい

汚いと  
嫌悪していた  
はずなのに

どうしても  
伝えずには  
いられなくて

フワ



好きです



うあ!?

すけ

やあ  
ここ気持ち  
いいんですか?

夏目くん  
大好き



ぐわんぐわん

ハハハ





おかしくなつていらいますよ



しあわせ



夏目くん



すみ

だいすき



おかしくなるから、あ

うめ♡



うれしい

つむぎにいきん、ッ  
聞け

なつめくん





俺で  
いっばい  
なっで



すみません

は

中に

は...









きこと  
もつこと  
離れられない

そんな、  
厄介で  
愛しい呪いに

…キラキラ！



おわり

# 補足説明後書き言ひ訳

ただのえる漫画にするはずが思いのほか真面目な話になってしまいました。なんでこの二人こんな喧嘩してんの？いいからもう早くスケベしてください泣と思ってるのにと、青葉つむぎの情緒の成長痛のお話になりましたね。

ネームを進めてから話とかセリフが気に入らなくてずつとコネコネコネしてたら本当に時間がかかってしまい、ラフまで描いたのにボツにしたページのページ分くらい。本一冊分やんけ。いつもこう。無駄が多いよー！

あとからボツになった方を見返してめっちゃビックリしたんですが、つむぎが夏目くんを救う(?)感じの話で目線が真逆！プロット無視しすぎだろ！だから時間が掛かったんですよ！?と自分をタコ殴りしたい衝動に駆られました。エロ本作るの下手すぎて泣いた。あとエロになったら急に〇下がった感じがして読み返して爆笑しました。

今更すぎますがゲーム内ストーリーの方で心の交歓があるから二次創作難しすぎませんか?つむぎ夏つて公式が最大手なのですか?(>(<) 雑語があっても許してーパッパッパッー！

時系列的にSwitch結成後最初のライブが多分イースターだと思わんですが(違ってたらすみません)公式スト読み返してるのに自信がない、今回はエレメント直後(フレアデスモノログ)最初の革命後の春までの期間につむぎがキュッと詰め込まれていた場合(?)の話になりました。\*アイドルなので春休みは消滅しました。

それにしても結成からライブ(本番)までスピーディすぎるな、夢ノ咲アイドル。大人には無理や。アイドル科だから成せる技か。

以下よりちょっとした補足です。

今回の本には直接関係ない話もしてます。あくまで私の脳内での話なので、もしお読みくださる方がいたら、ご自分に都合のいいところだけうまいこと取捨選択してくださいと幸いです。

## 【つむぎの過去】

つむぎは母親のことを否定こそはしませんが、間近で恋愛によって身を滅ぼすのを見てきたので、当時付き合う男の趣味に合わせて髪を伸ばしていた母親とお揃いの自分の髪が嫌になって自分で切ったということにしています。回想シーンの母親の服装がなんだか派手目なのはこのためです(調べて描いたのにセンスはありませんでした)。修正前はもうちょっと子供時代の回想が長くて、「あなたのようににはなりたくありません」というつむぎのモノログが入っていました。子供時代は傷付く心がちゃんとおったからこそ、髪を切るのはきつと痛かったかもしれない。髪に痛覚は無いはずなのに……。母が付き合う男(結婚詐欺師)宗教勧誘目的)みたいなイメージです。最悪すぎるし男運がなさすぎる。これ書くために色々調べたんですが事実は小説より闇深。ダンススクールが倒産したのとか時系列はふわふわです。そのせいで子供時代ひどい思いをしていたつむぎは周りの子よりちょっと小さめだったのかな。泣と思いつながら幼少期を描きました。服がダボついてたり裾を折ってるのは兄のお下がりだからです。襟首ダダダ。今デカく育ってよかったな！健やかに生きてほしい。

年の離れた(捏造)お母さんいくつ?兄はできるだけ家に居たくなくて、学生のうちから長時間働きに出ているので、家族とのエンカウントはものすごい短時間。もし兄弟の歳が離れていなかったら、つむぎ兄が少しでも弟を顧みることがあったなら、未来はもう少し違ったのかもしれない。

り返していたのだ……。病んでるよみんな……。つむぎがなんだかんだ高校生に至るまでに完全に壊れたり、あるいは他者を傷付ける方向に育たなかったのは奇跡かもしれません。これには逆先マミイの手が加わってる可能性も有るなあと思つて話に組み込んでいたのですがカット……というか話を変更した関係で消えてしまったので、次に結婚本出すとき入れたいな〜と思いました。ルックバツクしばらく来ないでほしい。

でもエロシーン描くのが楽しすぎたので今回の話の続きで、夏目くんからは「好き」と言ってもらってないから「付き合っていないけど優しいから(スケベの)相手をしてくれる」と思ってるつむぎと、とくに付き合ってる気持ちになつてた夏目くんがまたちょっと喧嘩して結局ラブラブエッチ♡♡みたいなスケベメインの本を今度こそ出したいです。つむぎ夏つて本当に可愛い。

話が大きく逸れましたが、つむぎのこれからの人生がきれいでやさしいもので溢れて、溺れるほどの愛で包み込まれるものであってほしいと思つています。それがオタクの願いです。

## 【「夏目ちゃん」の呪い(のろい)】

夏目くんが過去に女装させられていたのは、幼少期に身体が弱い子供を女として育てることで、それに打ち勝つための呪い(まじない)だということが公式からアンサーが出ていると思えますが、個人的には「女の子の服を着て、習い事をして、女の子の「ように」育てられていた」、と言うより、逆先マミイの手により「自分は女の子だと」思い込まされて「いた」だと思つています。

言い換えると「洗脳」。

「魔法が解け、履いていたはずのガラスの靴がまやかしたと気付かされたとき」お気に入りモノログ」

逆先マミイによって女の子の魔法呪いが解かれた瞬間

